

今が旬！ アレルギー性結膜炎

●企画にあたって

アレルギー性結膜炎は、よほど重症な症例か、アレルギー性結膜炎を専門とされている高名な先生がおられる施設でないと、大学病院へ紹介されるケースはほとんどないと思います。しかし、アレルギー性結膜炎は大変多い疾患で、しかも主症状の「痒み」に関しては、罹患している患者にとっては深刻な問題です。

しかし、これまでの『臨床眼科』の特集を振り返ってみると、どうしても編集委員の研究分野で特集を組むことが多いため、アレルギー性結膜炎についての特集が組まれたことはありませんでした。

2017年に日本眼科アレルギー学会が発足し、2018年、ついに1回目の日本眼科アレルギー学会学術集会在開催されました。日本眼科学会のプログラム委員会のメンバーにも日本眼科アレルギー学会の会員が加わり、これから日本眼科学会総会や日本臨床眼科学会でもアレルギー性疾患のシンポジウムや演題がたくさん登場することになると思います。

そこで、まさにこのタイミングで、本誌にて「今が旬！ アレルギー性結膜炎」と銘打って、特集を企画させていただきました。アレルギー性結膜疾患の診断や病型分類、検査方法、予防や最新の治療法について、アレルギー疾患のエキスパートの先生方に詳しく執筆いただきました。

アレルギー疾患に関しては、眼科以外の分野でも最近注目されており、平成27年（2015年）にアレルギー疾患対策基本法が施行されました。その法律を踏まえて、各都道府県に、アレルギー疾患医療連絡協議会の設置と、アレルギー疾患医療の拠点となる都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の選定を行うことが国から求められています。拠点病院になる施設は、大学病院など各都道府県の大きな病院が選定されるケースが多く、今後、大学病院の眼科医もアレルギー疾患を診察する頻度が増えてくると思います。

本特集を通して、アレルギー性結膜炎の最新の知識を共有できればと存じます。

稲谷 大

福井大学医学部眼科学教室